

漫画 立花もぐら

原作 クロサワ

日 那 様

は

あま

1



日

那
様

は

漫画 立花もぐら

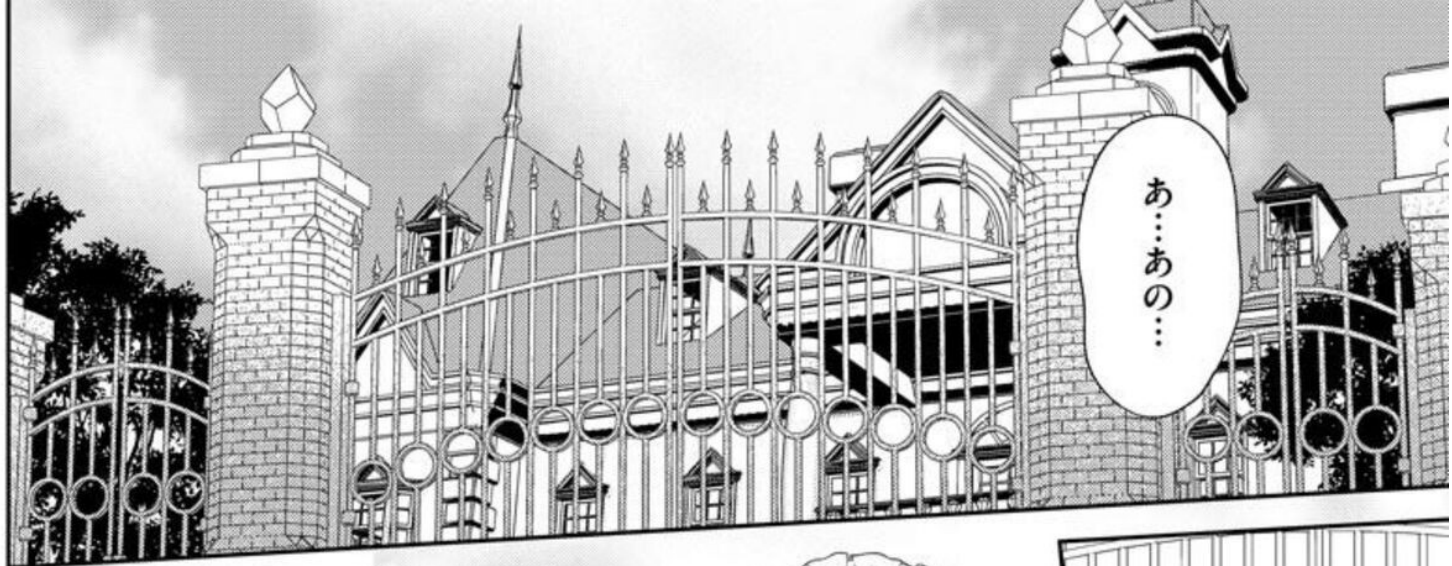
原作 クロサワ

あま

第1話

「貴方に相応しくなりたい」





あ…あの…



いいからさっさと
当主を出せって
いってんだ!



先ほどもお伝え
しましたが…



ですが…



旦那様の
スケジュールには
本日来客の予定は
なしと…

失礼ですがもう一度
お名前をお聞かせ
いただけますか？

……っおまえ！
俺を誰だと
思っている！



失礼だぞ
メイドの分際で！



あっ…

わっ

……っ



俺の妻に
何か



申し訳ありません
私のスケジュール
管理が至らず...!

秋人様...!



...つ...つま...?!

そんな...



おまえは…
誰だ？



騒がしいと思って
きてみれば…

いや
今日は何も
入っていないはずだ



ひどいですよ社長！
秘書課副室長の
安藤あんどうです！
来週からの
マカオ視察の件で
本日打ち合わせをと…

秘書室長の永井ながいは
知っているが
おまえのことは
知らないな



今日は帰れ

永井に新人研修
プログラムを
受けさせるよう
伝えておく



あ
秋人様…!?

タラ!



…やはり
やめさせるべきだな



あの…



いや違う
ゆきの
雪乃のことだ



…先ほどの
安藤様のこと
ですか？
それは
あまりにも…

やめさせる…!?

それは
メイドを…?

それとも
秋人様の妻を…!?

やはり私が
至らないから…

秋人様に
つり合わないどころか
スケジュール管理も
できないような無能な…

役立たずな
妻だからっつ

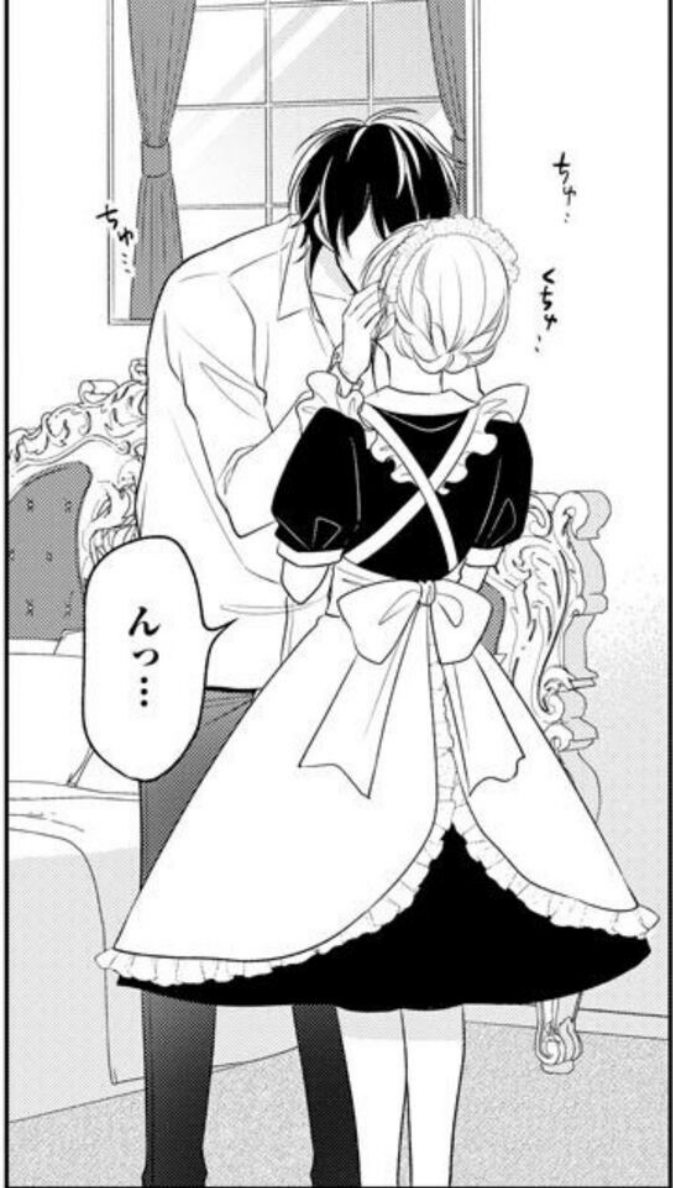
なん!?
なんでそうなる

…そう…ですね…

私…
出ていきます…

え…
やめさせるって…







だめ…
どうして慣れないの…?
こっぴつこっぴつ
ずっとしてきたのに…

今もこんなに
秋人様のことが
好きで…なのに…

恥ずかしいって
思ってしまうなんて
へん…

どっしり
恥ずかしい…

キリキリ



かあ
あ

あ…あの…

ん?

秋人さま…
あの…

カ…カーテンを…
閉めてください…

いん…



ぽん

カッ
バッ

あっ…!?

えっ…っ!?

やあっ…!!



ああ…カーテンな
そうだな…
あとで閉めようか

ひ…っ…
ひどいです…っ

いや…!
そんな…
見ないでください…!



だめだ

雪乃のかわいい
ところを
全部見る権利が
俺にはある

夫だからな…

ほらこのかわいい
ぷっくりしたところも…

…っひあんっつ

下っ
ヒッ
ヒッ



全部丸見えだ…
かわいい雪乃

さあ
これも取ろうな

メイド服を脱げば
おまえはただの

—俺の妻だ



…あ…あ…
あきとさま…

それもだめだ
今はもうメイドじゃ
ないだろ

どういうんだ？

…う…

…あ…う…
その…



…だ…
だんなさま…？



はあ…

え…

私また
何か間違えて…?

ガーン

…まあいい

今はな



ビクッ

じゅわん



えっ…やっ…!!

じゅわん

じゅわん

やああんっ…!!

くわんくわん

かあぁ

いきなりそんな…!!
ああっ…!!
秋人様っ…!!

ちゅわん

ちゅわん



だめっ…!!
あああ…!!



あいたいっ
秋人様あ…

キゅっ



え…!?

じゅっ

ちゅく



ビク
ビク
ビク

やああああつ!!



やめてくれない…!
もうイったのに…!!

秋人様あつ…
だめやあ…
そんないっぱい…

ちゅく

じゅっ

…ああつ…
だめ…っ…も…
だめです…っ

いつちや…っ
…またっ…



…そろそろいいか
雪乃のナカ

くちゅ

…ひぁ…

狭いな…
何度かわいがっても
いつも処女のように
狭い…

困ったものだ



また妙な
妄想をして
いるな

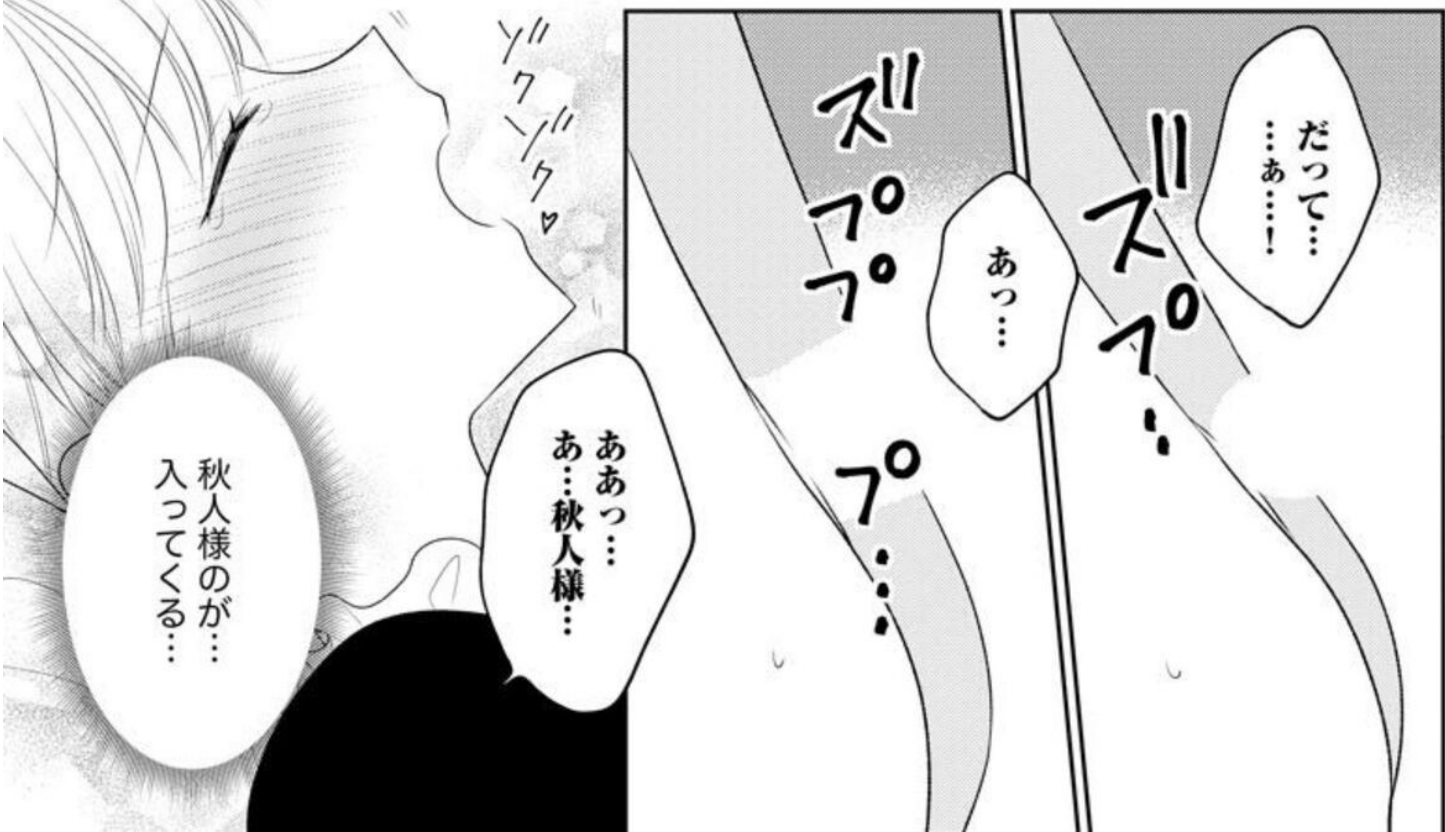
はぁ…

！



困ったもの…
う…やっぱり…
妻として不出来…

旦那様を
満足させられない
なんて…



あぁっ…
あ…秋人様…

秋人様のが…
入ってくる…

だって…
…あ…！

あっ…

ズ
フ
フ

ズ
フ
フ

フ…

ソクソク

…は…狭い…

これは
褒めているんだぞ？

…っ…!?

…???

狭い…いいの…??
どうして…??

あきとがき…
すくく…

あ…っ…
おつらそうなお顔で…
…っう…き…く…
だし…

だ…だめな…
体なのかと思っ…

あうっ…!!

ズッ
ゴッ
ッ

クククク

クク



おまえは本当に...!

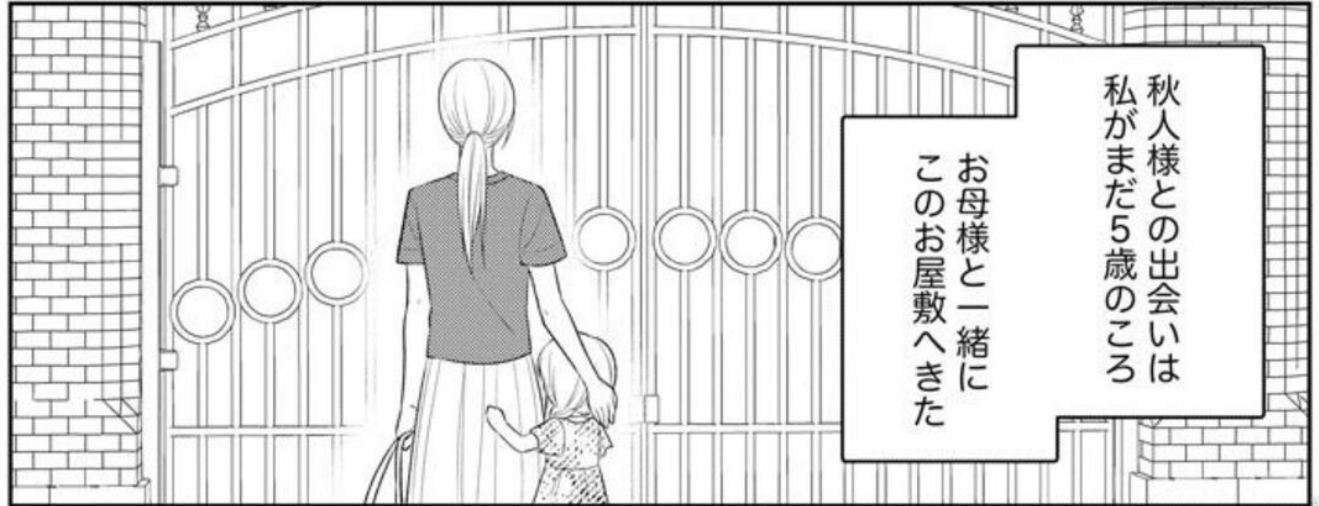
やっ...

あっ...ああっ

ごめんなさ...っ

あっ...

どうして...?
また呆れられて
しまった...



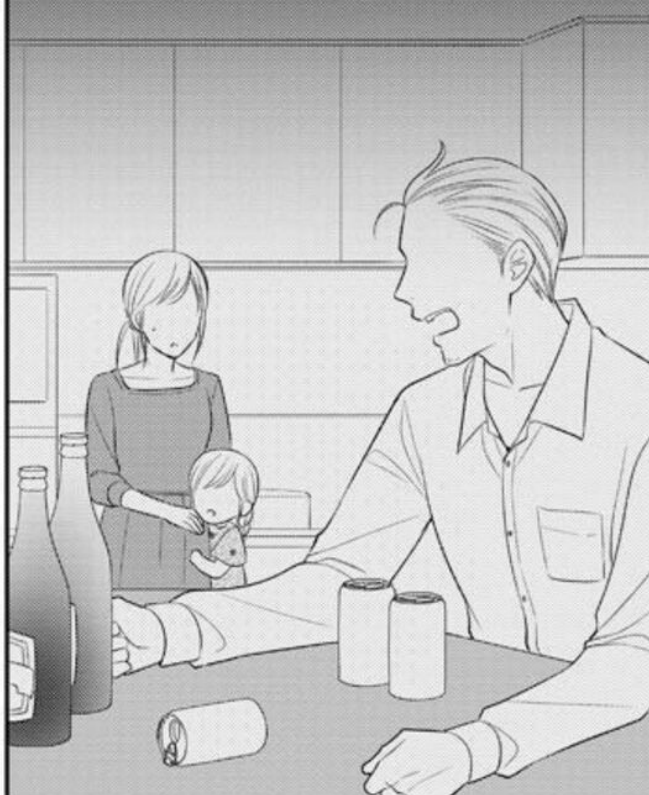
秋人様との出会いは
私がまだ5歳のころ

お母様と一緒に
このお屋敷へきた



それまでの
私たちの暮らしは...

ガッ
ニッ



地獄だった



特に…



南家の人たちは
みんないい人で
優しくて

ようやく父のもとから
逃げ出して
母は縁あって南家みなの
住み込みメイドとして
働きはじめた





母が急逝した
時も……



秋人様は
私を妹のように
かわいがって
くださった



雪乃
久しぶりに
出かけないか
今日はいいい天気だ

ガタ



……



あっ！

ビュウ



ほら風が
気持ちいいよ

ふさぎ込んでいた私を
秋人様はいつも
慰めてくださいました



落ちる...



写真が...

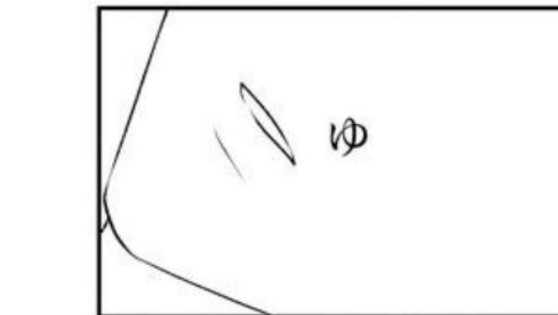
あ







—この疫病神！
おまえのせいだ





雪乃
仕事を頑張って
くれるのは
うれしいけど
俺にかかりつきり
じゃないか



お体を
拭きますね

秋人様
おはよう
ございます

半年後
秋人様は無事
退院されました



だって
私にはこれくらい
しか…



いいえ！
まだまだ
足りないくらいです！



これはね…



すぐお医者様を
呼ばないと！

こんなところが
腫れて大丈夫なはず
ありません！

あ…えーと
雪乃
大丈夫だから
…

秋人様…!?
大変です！



え…



あ…



はあ…

もい
もい

……



かあ、

そ…そうだったの
ですね…

勉強不足で
申し訳ありません…



治して…
くれるか？

ドキン…

え…

……

思えばこの時から
私は秋人様の妹ではなく
秋人様は私のお兄様では
なくなつたように思えます

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。